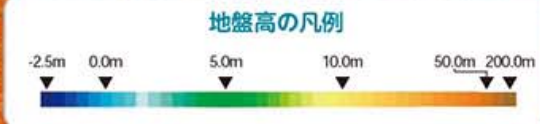




水害から

あなたと家族の大切な命を守るために

もしも信濃川が氾濫したら...!?



他にも

防災お役立ち情報発信中!

二次元バーコードから、近くの自治体の防災情報を確認しよう!



信濃川下流河川事務所



新潟県



新潟市



弥彦村



燕市



三条市



田上町



加茂市



五泉市



長岡市



見附市



気象台

パソコンやスマホでも確認してみよう!

信濃川下流域・阿賀野川情報共有プラットフォーム

降雨の状況や河川の水位・映像、避難所の開設状況など洪水時に役立つリアルタイムの防災情報をまとめて確認することができます。

信濃川下流 プラットホーム

検索



リアルタイムの防災情報を一元化して提供!

水位情報



地図を操作して地域の情報を確認! 避難所情報



CCTV映像

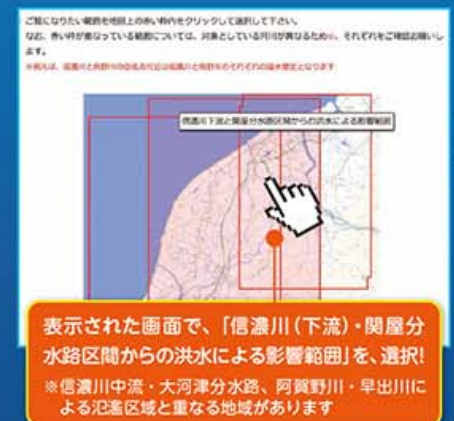


信濃川下流の浸水情報

起こりうる最大規模の洪水の浸水継続時間、家屋倒壊の恐れのある範囲など、ご自宅や職場、学校の「水害リスク」を知ることができます。

信濃川下流 浸水想定

検索



新潟県の浸水情報

新潟県が公表している浸水区域情報が確認できます

新潟県浸水想定区域図

新潟県 浸水想定 検索

新潟県浸水実績図

新潟県 浸水実績 検索

全国の浸水情報

全国の河川の浸水に関する情報が確認できます

浸水ナビ(国土交通省「地点別浸水シミュレーション検索システム」)

浸水ナビ 検索

国土交通省ハザードマップポータルサイト

ハザードマップ 検索

水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会 事務局
信濃川下流河川事務所 調査設計課

〒951-8153 新潟市中央区文京町 14-13
お問合せ先: 調査設計課 TEL 025-266-7131
FAX 025-266-7105

起こりうる最大の豪雨での浸水範囲と深さ

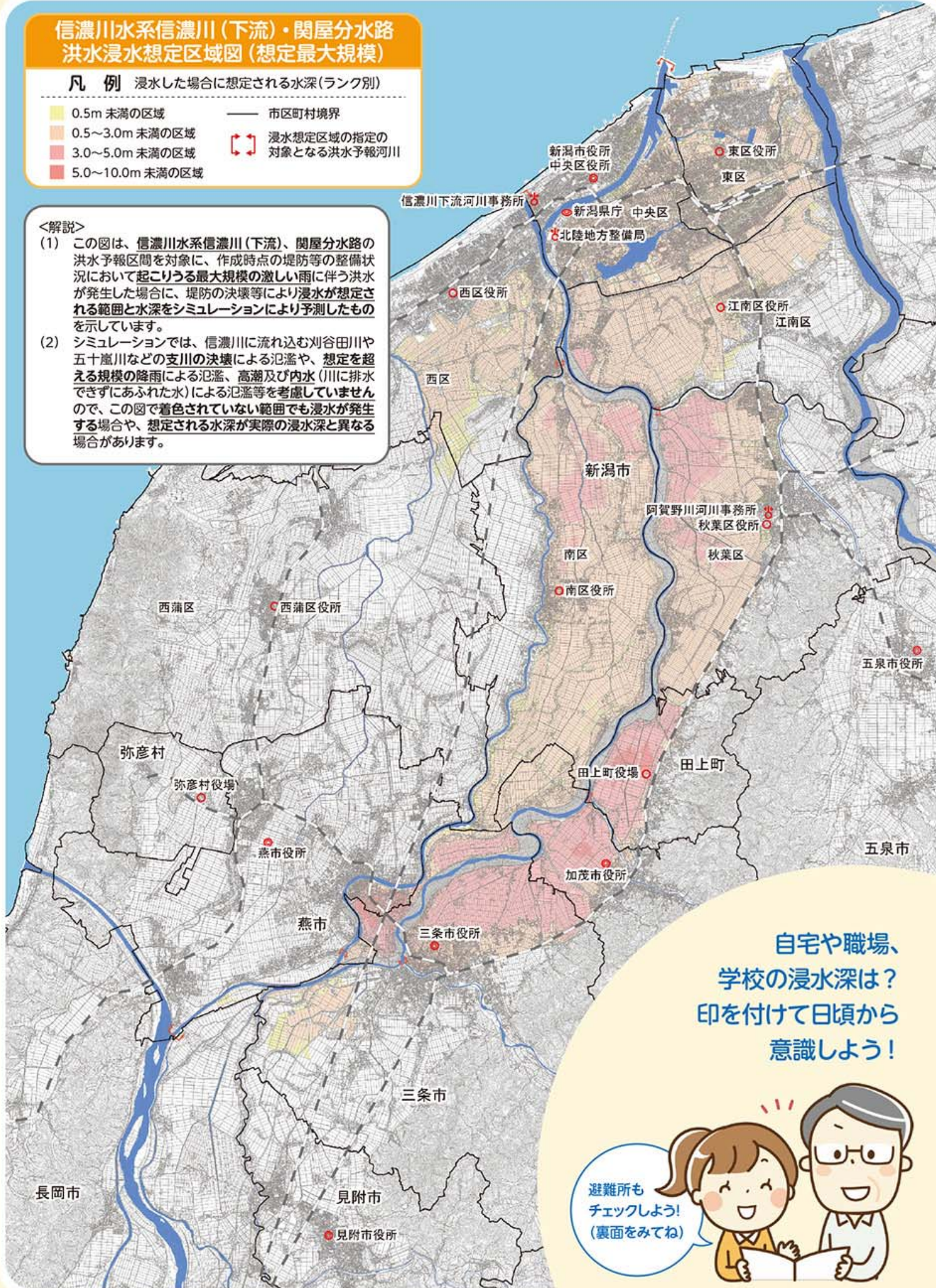
信濃川水系信濃川(下流)・関屋分水路 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

凡例 浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 市区町村境界
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

<解説>

- この図は、信濃川水系信濃川(下流)、関屋分水路の洪水予報区間を対象に、作成時点の堤防等の整備状況において起こりうる最大規模の激しい雨に伴う洪水が発生した場合に、堤防の決壊等により浸水が想定される範囲と水深をシミュレーションにより予測したものを示しています。
- シミュレーションでは、信濃川に流れ込む刈谷田川や五十嵐川などの支川の決壊による氾濫や、想定を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水(川に排水できずにあふれた水)による氾濫等を考慮していませんので、この図で着色されていない範囲でも浸水が発生する場合があります、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。



自宅や職場、
学校の浸水深は？
印を付けて日頃から
意識しよう！

避難所も
チェックしよう！
(裏面をみてね)



浸水想定区域を知っていますか？

近年、各地で洪水による大規模な被害が発生していることを受け、国土交通省では、「起こりうる最大規模の激しい雨によって生じる浸水被害の想定範囲」を公表しています。信濃川水系でもこの検討を進め、平成28年5月30日に「浸水想定区域図」を公表しました。

- 5mの浸水は、2階建ての住宅のほぼ全体が水没する高さです。
- この区域の場合、建物の中にとどまらず、安全な場所への早めの避難が必要です。
- 3mの浸水は、ほぼ、2階建ての床面の高さです。
- この区域の場合も、2階まで浸水してしまうことがあるため、安全な場所への早めの避難が必要です。
- 50cmの浸水は、1階床面の高さになるため、浸水後に歩いて避難するのは困難です。



信濃川下流域で氾濫したら…

- ビルの2階、3階以上に避難をしても、低層階が浸水して、電気、水道、ガスなどが停止する恐れがあります。飲み水が不足したり、トイレも使用できなくなると考えられます。
- 水が引くまでに3日以上かかる地区が多く、浸水被害が広範囲に及ぶため、救援・救助の到着に時間がかかる恐れがあります。



平成16年7月新潟・福島豪雨 氾濫状況
三條市 長岡市中之島地域

大切なのは…

1 日ごろから備えておく！

- 家族で、洪水が起きた時の対応について話し合みましょう。
- 非常持ち出し袋を用意しておきましょう。

- | | | |
|---|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 一番近い避難所はどこ？ | <input checked="" type="checkbox"/> 携帯ラジオ | <input checked="" type="checkbox"/> 非常食 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 避難時の安全な道順は？ | <input checked="" type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input checked="" type="checkbox"/> ライター |
| <input checked="" type="checkbox"/> 服装やクツは？ | <input checked="" type="checkbox"/> 赤ちゃんの紙おむつ、粉ミルク | <input checked="" type="checkbox"/> 常備薬 など |

2 自分で判断し、早めに避難！

- 身の危険を感じたら、「自分で判断」し、早めに避難することも重要です。
- 「自分で判断」するために、さまざまな情報が提供されています。
- テレビのデータ放送、自治体のホームページなどで今後の雨の予想、川の水位の変化の様子を確認し、安全に避難できる時間帯に、早めの避難をすることをおすすめします！

避難所等の情報は、ウラ面の各種情報サイトで確認できます。

浸水想定区域図の閲覧ができる場所の紹介

信濃川下流の浸水想定区域図は、北陸地方整備局や、信濃川下流河川事務所などでご覧になることができます。また、インターネット上でも閲覧することができますので、ぜひ確認してください。インターネットでの閲覧方法は、このパンフレットの裏面に記載しています。

浸水想定区域図を閲覧できる所	住所	電話番号
北陸地方整備局 河川部	新潟市中央区美咲町1-1-1	025-280-8880
信濃川下流河川事務所 調査設計課	新潟市中央区文京町14-13	025-266-7131
信濃川下流河川事務所 三条出張所	三条市北入蔵1-4-23	0256-38-6767
信濃川下流河川事務所 関屋出張所	新潟市西区関屋1827-39	025-267-6857



ネットでの閲覧方法は
ウラ面へ！